

令和2年度 大学の世界展開力強化事業 面接審査実施要領

令和2年2月7日
大学の世界展開力強化事業プログラム委員会

1. 目的

審査部会（以下「部会」という。）において申請のあった事業計画の事業責任者等との質疑応答を行うことにより、書面審査での不明点等を明らかにし、優れた事業計画の選定に資することを目的とする。

2. 出席者と進め方

(1) 大学側出席者

- ・ 出席者は、事業計画ごとに代表申請大学の原則として学長または副学長・理事、事業責任者、実施担当者を含む4名以内とする。
- ・ 出席者のうち説明者は、事業計画の内容等について責任をもって説明できる者とする。

(2) 実施事項と時間配分

事項	所要時間（目安）			
	タイプA		タイプB	
事業責任者等からの説明	15分	計40分	25分	計60分
質疑応答 （説明者は、事業計画に基づき、別途パワーポイント等で作成した資料により説明）	15分		20分	
個別審議 （大学側出席者退席後）	10分		15分	

※ 実際の時間配分は、実施件数を踏まえ部会において決定する。

3. 実施後の対応

- (1) 部会委員は、書面審査におけるコメント等を踏まえ、事業計画ごとに別途定める評価書を作成する。各審査結果は事務局が集計の上取りまとめた後、部会に報告する。
- (2) 部会は、書面及び面接審査の結果を踏まえ、合議により優先順位を付した選定候補案を決定する。

4. 出席者への注意事項

- (1) 進行状況により開始時間が早まることを想定して、当該面接審査開始時間の15分前までに指定された場所に参集すること。
- (2) 面接審査における使用言語は日本語とする。ただし、出席者に日本語での対応ができない者を含めることは差し支えないこととするが、その場合、質疑応答を円滑に行える環境の確保（他の出席者が通訳する等）に配慮すること。
- (3) 面接審査実施時の録音及び録画は禁止する。